

ISFJ Inter-University Seminar for the Future of Japan

ISFJ2016 政策フォーラム活動報告書

文責：森恵実

【日時】

2016年12月10日（土）、11日（日）

【会場】

12月10日：明治大学和泉キャンパス・日本大学経済学部三崎キャンパス
12月11日：明治大学駿河台キャンパス

【参加】

23大学 50研究会 675名 27分科会 126チーム

【概要】

政策フォーラムは二日間にわたり開催され、その中で

- ・全国の学生が立案した政策を社会に向けて広く深く発信していくこと
 - ・政策や社会に対して意識の高い学生が一堂に会し、問題についての知識・考え方を共有すること
- の2点を目的として開催されました。

【企画内容】

1日目となる研究発表会では、問題意識の近いテーマを扱ったゼミを27の分科会に分け、パワーポイントを用いた発表を行いました。プレゼンテーションは事前に提出された最終論文にのっとり、各研究会の半年の研究の成果を披露しました。

2日目は、一次論文審査、二次論文審査を通過した論文を、さらに特別論文審査会議により精査し、それにより選出された5本の研究班が決勝プレゼンテーションを行いました。この決勝プレゼンテーションにより、特別ゲストおよび参加者の投票から政策提言賞が選出されました。また、1日目の分科会発表で高い評価を得た研究会は分科会賞に、また特別論文審査会議によって選出された論文のうち4本は優秀賞に、特に優れていると評価された論文には最優秀賞が与えられました。

分科会賞受賞の様子



【責任者総評】

1日目：本年度は、2会場の分割開催でイベントを開催いたしました。54名におよぶコメンテーターの皆様や、多くの参加者の皆様にご協力いただきましたおかげで終始円滑にイベントを執り行うことが出来ました。各分科会の発表におきましても、論文およびプレゼンテーションスキルが年々向上しているとの評価をいただきました。また、論文審査においては149名の方にご協力いただきましたおかげで、より公平な審査が行えたのではないかと考えております。また、コメンテーターの皆様による熱心なご講評により、参加者にとって今後の研究の指針になったのではないかと考えております。

2日目：特別論文審査会議において選出された5チームによる決勝プレゼンテーションが行われ、慶應義塾大学土居研究会が政策提言賞を受賞しました。いずれのチームも大変レベルの高いプレゼンテーションを行い、また、活発な質疑応答も行われ、発表者と参加者が問題に対する意識を共有できたのではないかと考えております。ゲストの皆様からは丁寧かつ具体的にご講評をいただき、参加者にとっても大変有意義なものでありました。

2日間を通じて、各研究会、参加者が問題を共有し、日本の未来を考える機会となるようなイベントが開催できたと考えております。今後もこの経験を活かし、より一層活動が深まることを願っております。

【結果】

最優秀賞

・大阪大学赤井伸郎研究会「持続可能な水道事業を目指して～民間活用と広域化による経営効率化～」

政策提言賞

・慶應義塾大学土居丈朗研究会「保育需給の適正化を目指した入所制度改革」

優秀賞

- ・大阪大学赤井伸郎研究会「女性医師の活躍促進政策～安定的な医療提供を目指して～」
- ・南山大学鶴見哲也研究会「転居意向における愛着の効果～住みよいまちを目指して～」
- ・明治大学千田亮吉研究会「世界遺産の環境保全政策～観光と保全の両立を目指して～」
- ・慶應義塾大学土居丈朗研究会「保育需給の適正化を目指した入所制度改革」

分科会賞

医療：大阪大学山内直人研究会「公立病院改革は病院の経営効率性を高めたか」

介護：慶應義塾大学土居丈朗研究会「介護保険の持続可能な提供に関する政策提言～運営体制に起因する問題の解消を目的とした政策提言・検証分析～」

環境①：京都産業大学上田昌史研究会「今こそ考える食糧問題」

環境②：南山大学鶴見哲也研究会「幸せで持続可能な節電行動」

観光：上智大学釜賀浩平研究会「都内における宿泊施設不足の解消に向けて～最適な容積率緩和水準の策定～」

教育①：明治学院大学西村万里子研究会「貧困世帯児童に対する支援」

教育②：慶應義塾大学樋口美雄研究会「奨学金延滞に関するマクロ的分析」

財政①：同志社大学風間規男研究会「サイバーセキュリティ対策を目的とした新税の創設」

財政②：慶應義塾大学土居丈朗研究会「『痛税感』緩和のための税制改革～財政再建へのプロローグ～」

金融①：日本大学鶴田大輔研究会「中小企業の成長に向けた制度保証の提言」

金融②：日本大学鶴田大輔研究会「地方創生に向けた金融機関の目利き機能の強化～信用保証依存脱却への政策提言～」

経済産業①：熊本県立大学本田圭市郎研究会「技術進歩に向けた特許制度の在り方～技術進歩変動要因としての特許と料金体系の再構築～」

経済産業②：日本大学豊福建太研究会「オープンイノベーションによる日本企業育成策」

行政①：大阪大学山内直人研究会「地方議会のジェンダーバランスに関する実証分析」

行政②：大阪大学山内直人研究会「万引き再犯の要因と抑止策に関する実証分析」

社会保障①：慶應義塾大学土居丈朗研究会「最低所得補償のための基礎年金改革～所得代替率50%からの脱却～」

社会保障②：慶應義塾大学樋口美雄研究会「理想子ども数の実現性に関する実証分析」

地方創生①：明治大学齋藤雅己研究会「若者の新規就農促進策～地方農業の発展に向けて～」

地方創生②：京都大学岩本武和研究会「大学発ベンチャーキャピタルを通じた地域経済活性化に向けて」

都市交通①：千葉大学倉阪秀史研究会「地域公共交通としてのライドシェア導入の可能性の検討」

都市交通②：明治大学千田亮吉研究会「鉄道混雑料金導入による勤務形態多様化の促進」

防災：上智大学釜賀浩平研究会「大規模震災に備えた木密地域の整備促進」

保育：中央大学横山彰研究会「保育士不足の解消による待機児童問題の収束に向けて」

国際：神戸大学石黒馨研究会「日本のODAによるカンボジアの森林保全」

労働雇用①：慶應義塾大学山田篤裕研究会「企業側にもメリットのある福利厚生制度拡充の提案」

労働雇用②：慶應義塾大学樋口美雄研究会「新規学卒者の早期離職率の低下を目指して～企業・新卒者要因に基づく実証分析～」

労働雇用③：南山大学水落正明研究会「サービス産業における労働生産性向上の規定要因」